

## 平成30年度第1回南筑後地区選挙啓発研修会 報告

担当：海谷

1 趣 旨	政治的な教養を身に付け、身近な問題について考える主権者のあり方についての理解を深めるとともに、地域の実情に合わせた選挙活動の推進を図る
2 対象者	管内市町選挙管理委員会職員、管内市町社会教育関係職員、管内明るい選挙推進協議会委員 管内市町政治学級関係者等 (61名) 欠席8名
3 期 日	平成30年9月7日(金)
4 場 所	大川市文化センター 小ホール
5 内 容	【研修Ⅰ】「18歳選挙を契機とした若年層の選挙啓発について」  【研修Ⅱ】「福岡県における啓発事業のあり方」

### 6 評 価

(1) アンケートから (アンケート回収49名、無記名7名 未提出5名)

	評価項目	4	3	2	1	無	平均
<b>総合評価</b>		<b>14</b>	<b>27</b>	<b>3</b>	<b>0</b>	<b>5</b>	<b>3.2</b>

#### ◆研修Ⅰについて

- 福岡県選挙委員会が若者にむけてどんな啓発をおこなっているのか理解できた。
- 19歳の投票率がなぜ低いのか、プレゼンを使用して具体的な分析を説明してほしかった。

#### ◆研修Ⅱについて

- 筑後地区、日本のプライドについてなどの話はよかった。
- 啓発活動の歴史については面白かった。
- 明るい選挙運動の歴史や仕組みについては勉強になった。
- 20年位前まで政治学級生の方々と一緒に勉強していたことを思い出した。千代島先生の話聞いて良かったです。
- 選挙権の推移を勉強する必要があるのではないか。
- 導入と本題がほぼ同じ時間であった選挙制度とか、自主学級のあり方についてもう少し説明してほしかった。

#### ◆全体を通して

- 若年層の選挙啓発活動を市町村単位でももっと積極的に行う必要があるなと思った。
- 心のなぐさめになった。このような企画をまたお願いいたします。
- 若年層の選挙啓発活動を市町村でも積極的にするべきだ。
- 11月から政治指導学級を立ち上げるため、講義も参考にしながら頑張っていこうと思います。
- 日本は素晴らしいということはわかりましたが、選挙啓発の方はよくわかりませんでした。
- 啓発のあり方を皆で話し合うような場を作ると良いと思う。もっと前向きに考えた方が良い。
- 税金を使った研修会なので公平性のある研修にしてほしい。

### (2) 成果と課題

- 福岡県選挙管理委員会の若年層に向けた啓発について理解していただくことができた。
- 福岡県の選挙啓発の歴史を筑後地区の歴史等も踏まえて理解していただくことができた。
- 福岡県選挙管理委員会の説明の際、話すスピードが速く、聞き取れない受講者が多かったため、今後は説明の仕方等も含めて打ち合わせを行う必要がある。
- 講師の講話の際、趣旨の内容と合わないように捉えられる内容等もあったというアンケート内容が多かったため、今後打ち合わせの際に細かな内容の打ち合わせを行う必要性がある。



研修Ⅰ 18歳選挙を契機とした若年層の選挙啓発について



研修Ⅱ 「福岡県における啓発事業のあり方」